



NPO 法人 相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

相双COCOROニュースなごみ

第 31 号 2022 年 5 月 吉日

発行元 広報会員管理委員会

ホームページ <http://soso-cocoro.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/cocoro.nagomi/>

Instagram https://www.instagram.com/nagomi_soso/

Twitter https://twitter.com/nagomi_soso



2022 年度 NPO 法人総会 & オンラインイベント

日時 2022 年 6 月 12 日 (日)

◎総会 11:00~12:00... 当会正会員様のみ

◎オンラインイベント 14:10~15:30... どなたでも

Zoom による配信

※詳しくは、別紙チラシを参照ください

是非

ご参加ください!

相馬ロータリークラブ様の例会にて

1 月 18 日に相馬ロータリークラブ様の例会に参加させていただきました。目的は当法人への入会と寄附を募るための団体紹介です。実際の活動を収めた動画や、寄附をいただいた際の税制優遇について話させていただきました。皆さんとても興味関心を寄せてくださいました。プレゼンが終わった後も声をかけてくださり、活動内容や入会について意見や情報の交換が出来ました。相馬ロータリークラブの皆さま、貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。また、この例会後に当会の取り組みをご理解いただき、賛助会員へ入会をいただいたロータリークラブの方々ありがとうございます。今後も、相双地域のニーズに応えるため活動に励んでいきます。引き続きご支援よろしく願いいたします。(事務 唯野)



なごみ応援団 (NPO 法人の会員) を募集中です!

1. 正会員 年会費 10,000 円
2. 賛助会員 年会費 一口 3,000 円
3. 寄附

会費・寄附の振り込み方法：郵便振込

口座番号：02260-0-126825

口座名義：特非 相双に新しい精神保健福祉をつくる会

【新規会員のお申し込み方法】以下の方法で会員申し込み後、郵便振込にて会費を振り込んでください。

①FAX または郵送での申し込み：会員種別 (正会員または賛助会員)・氏名・住所・所属先 (職業)・電話番号・メールアドレスを明記の上、下記住所に申込書を郵送または FAX してください。

②なごみホームページからの申込み：<http://soso-cocoro.jp/>

★会員になる

ボタンをクリックして申し込みフォームからお申し込みください。

当法人は認定 NPO になりました。当法人への会費及び寄附は、寄附金控除の対象になります。

詳しくはホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】なごみ相馬事務所

〒976-0016

福島県相馬市沖ノ内 1 丁目 2-8

電話 0244-26-9753

FAX 0244-26-9739

アドレス nagomi@soso-cocoro.jp

なごみに新しい仲間が加わりました！

◆鈴木 創◆

はじめまして。4月よりアウトリーチチームに入職しました鈴木創と申します。これまで精神科クリニックの臨床心理士として心理検査や面接をしたり、電話相談の仕事を主にしておりました。以前なごみを見学させていただいた時、地域に密着して様々な活動を利用者の方々と一緒につくっている様子を見て、目には見えない豊かなつながりを感じ、築くためにどれだけの労力があつたのだろうと想像し感銘を受けました。これから少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。どうかよろしく願いいたします。



◆折笠 葉月◆

4月よりアウトリーチチームに入職しました、看護師の折笠葉月です。以前はいわき市の病院に勤務しておりましたが、なごみでの活動に興味湧き、今回入職となりました。病院とは違った看護や関わり、支援を対象者の方と過ごす時間の中で共に学び楽しんでいければと思います。不安なこと・分からないことは多いですが、なごみ職員の1人として精一杯、活動して行きます！



啓発活動

MI（動機づけ面接）研修会

2月16日、相馬広域こころのケアセンターでは、ふくしま心のケアセンター地域アルコール対応力強化事業の一環として「MI（モチベーション インタビュー）研修会～今からできる動機づけ面接～」を開催いたしました。講師には、宮城県仙台市の東北会病院の齊藤健輔先生と金田和夫先生をお招きしました。研修会には、保健センターの保健師をはじめ21名の支援者が参加してくださいました。動機づけ面接とは、例えばアルコール依存症がお酒をやめる行動を支援者が協働的に動機づけするような面接方法です。依存症は、家族や知人から距離を置かれ孤立している方が多いのではないのでしょうか。支援者は健康になってもらいたいという気持ちが前面に出てしまうと、やめさせたい思いが強くなってしまいがちです。動機づけ面接では、本当はやめたいがやめることができないといった両価性（相反する感情）を認め、やめたい方向へ導くための方法を学びました。（ケアセンター 米倉）



チームジャンパーができました

訪問看護ステーションなごみ創設8年目にして、念願のチームジャンパーが出来ました。これまで訪問を通じ関わってくれたすべての方々や従事していただいた先輩方が築きあげてこられた訪問看護ステーションなごみ。その思いを今後引き継ぎ、現スタッフの個性で色を加えながら、地域に根差した看護を展開していかなくてはならないと身の引き締まる思いです。とはいえ新しい物に袖を通すと自然とうれしくなり、ジャンパーを着た互いの姿を見ながら笑顔がこぼれていました。チーム一丸となり利用者さんに寄り添って尽力していきます。

（訪問看護 古佐原）

